

★体育大会実行委員長の言葉より

まず、このコロナ禍の中で素晴らしい体育大会を開催できたこと、とてもうれしく思っています。実行委員長になった当初、自分の立場に自信がもてず不安やプレッシャーを感じることも多々ありました。ですが、委員長になり人前で話したり放送をしたりと多くの経験を重ねていくうちにやりがいを感じたくさんの楽しさを見つけることができました。例年とは違った形の体育大会でしたが、多くの方がコロナウイルス感染症対策に協力し、どの集団も活発に活動してくれたため、とても活気のある体育大会になったと感じています。そして、今日いろいろな場面で

たくさんのお人の笑顔

を見られたことが、何よりうれしかったです。

優勝できた集団も、残念ながらできなかった集団もたくさんのお思い出ができたと思います。今日までのことを振り返ると、応援団員のみんなが夏休みから考えてくれた個性ある応援も最初は全員のお思い出がまとまらず、悩んだ部分もあったことでしょう。ですが、たくさんのお練習を積み重ねたことで各集団の団結力が高まり、どの集団も最高の演技ができたと思います。

もう、体育大会は終わってしまいましたが、振り返れば振り返るほど、**縦割りリーダー6人の宣誓の意味**がとてもよくわかってきました。

縦割りでの応援練習からは「仲間と共に培ってきた絆を信じる」こと、

友達と切磋琢磨し活動ができることの喜びを感じ、

「誰一人かけてはいけない大切な仲間と互いに信頼する」ことの大切さと、

「未来への「希望」と今日の「勝利」をつかみ取るため」の努力を惜しんでは

いけないということを学びました。

体育大会では、**頑張ってきたこと、笑い合えたこと悩んだこと、全てがかけがえのない思い出**です。私たち3年生にとってラストの体育大会はたくさんのお協力とお支援のおかげで感動ある熱い最高の体育大会になりました。忘れることは絶対にありません。ありがとうございました。

令和3年 10月5日 実行委員長